

# ハートパル

2020年  
5月  
216号

## ジェンダー平等を実現しよう！

SDGs 目標 5：ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児の能力強化を行う

ジェンダー平等の実現は、すべての人が自らの能力を最大限に発揮する機会を得るために必要不可欠です。しかし、世界では教育や経済活動などの社会のあらゆる場面で、女性や女児が平等な機会を得ることができていません。日本においても、特に政治的・経済的な意思決定の過程において、女性の参画が著しく遅れている現状があります。ジェンダー平等の実現をとおして、これらの状況を改善することが、持続可能な社会を維持することにつながります。



国連加盟国が、より良い将来を実現するために、2015年から15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択。17の目標と169のターゲットが掲げられました。

### 9つのターゲット

ターゲットの達成を通してジェンダー平等の実現を目指します！



たとえばどんなことができるかな？

5.1	差別の撤廃
5.2	暴力の排除
5.3	有害な慣行の撤廃
5.4	家事や育児などの無償労働の認識及び責任分担
5.5	意思決定への女性の参画
5.6	性と生殖に関する健康・権利
5.a	経済的資源に対する平等なアクセス及びオーナーシップのための改革
5.b	ICT等の実現技術の活用
5.c	ジェンダー平等を促進するための政策や法規の整備

5.1 は、雇用条件や待遇などの見直しが当たります。例えば、46.9%もの女性が第一子の出産を機に退職している現状があり、出産後の職場復帰の難しさが挙げられます。その環境を整えることが企業の実施できる取組の一つです。

5.2 は、公共・私的空間における暴力の排除です。職場におけるセクハラもその一つです。相談窓口を設置するなど、被害発生を把握するための体制整備が求められます。

5.4 は、仕事を持つ女性が増えている一方、家事や育児・介護などの家庭内労働はいまだに女性の仕事として認識され、女性の負担は大きいと言えます。家庭内の労働においても夫婦や家族間で分担していくことが必要です。

5.5 では、企業等において管理職及びその他の指導的地位の女性の割合を向上させ、女性の能力が十分に発揮できる機会や環境を確保・整備することが求められます。2016年4月施行の「女性活躍推進法」でも示されています。

### 国内の取組

◎詳細は、内閣府のHPをご覧ください。

- ◆ポジティブ・アクション  
(男女労働者間の差を解消するために個々の企業が行う自主的・積極的な取組)
- ◆女性に対する暴力の根絶
- ◆育MEN（イクメン）プロジェクト
- ◆「女性応援ポータルサイト」の開発  
(女性のニーズにあった支援情報を提供するウェブサイト)

ジェンダーとは、「男らしさ、女らしさ」、「男は仕事、女は家事・育児」など、それぞれの性にふさわしいとされる行動や態度など社会的、文化的に形成された性別のこと。生物学的な差異に基づく男女の性別とは区別する。

参照：国際開発センターHPから



## 学校における女性管理職の現状…国立女性教育会館の調査報告から

学校は、一般に男女が平等に働く職場であると思われることが多く、教員という仕事の男女格差については意識されないように思います。しかし学校においても一般企業と同様、管理職に占める女性の割合が低い現状があります。

右図は、公立小学校、中学校、全日制高校、特別支援学校における職位・性別の教員数と女性の占める割合を示したのですが、教員全体に占める女性の割合に比べて、管理職に占める女性の割合が低いことがわかります。特に中学校と高校の校長は1割にも満たない状況です。

学校現場は、次代を担う子供たちが男女共同参画を推進する意識を育む基盤となるとても重要な場所です。学校運営において、意思決定過程に女性が十分に参画できてない状況は、子供たちの性別役割分担意識に影響を与えかねません。教員は子供たちの身近な大人のロールモデルとして、多様な選択肢があることを示していく必要があります。

〈校種・職位・性別教員数および女性比率〉

(人・%)

		教員計	校長	副校長	教頭
小学校	女	258,949	3,891	577	4,803
	男	155,952	15,029	1,222	12,980
	女性比率	62.4	20.6	32.1	27.0
中学校	女	101,053	665	137	1,168
	男	128,842	8,324	801	7,699
	女性比率	44.0	7.4	14.6	13.2
高校	女	52,804	249	71	412
	男	103,949	3,065	538	3,633
	女性比率	33.7	7.5	11.7	10.2
特別支援学校	女	51,613	225	80	443
	男	31,894	756	191	997
	女性比率	61.8	22.9	29.5	30.8

出典：「学校における女性の管理職登用の促進に向けて」（2020年3月発行）から

### 新型コロナウイルスと増えるDV

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出自粛や休業要請などが行われる中、生活不安やストレスにより、配偶者からの暴力の増加や深刻化が懸念されています。まずは一人で悩まず相談しましょう。緊急の場合には、ためらわずに110番通報してください。

全国相談ナビダイヤル:0570-0-55210



### 多様な性への理解と対応 ハンドブック

～ちがいが尊重される長崎県をめざして～

近年、LGBTをはじめとする性的少数者に関するニュースや情報に触れる機会が増えてきました。社会のなかには、性のあり方によって生きづらさを抱えている人もいます。すべての人が自分らしく生きていくために一緒に考えていきたいですね。

長崎県は、性的少数者の支援団体と協働し、性の多様性の理解促進と対応例をまとめたハンドブックを作成しています。このハンドブックを通して、一緒に多様な性について考えてみましょう！このハンドブックは、県のHPでご覧いただけます。



### 男女共同参画推進センター「ハートパル」

## 女性のための 相談室



0957-54-8715

月曜～金曜 9時～17時

※現在は新型コロナウイルス感染防止のため、原則として電話での相談のみとしています。

秘密は守ります  
無料です

☆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月24日(日)まで当センターの施設は閉鎖します。

#### 【問合せ先】

大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」

〒856-0832

大村市本町458番地2 プラットおおむら4階(旧浜屋ビル)

TEL: 0957-54-8715 FAX: 0957-54-8700

Eメール: danjyo-s@city.omura.nagasaki.jp

【問合せ時間】 月～金 8時30分～17時30分(祝・年末年始休)

